

その他連絡事項

情報提供

1. 国土交通省 和歌山河川国道事務所
2. 環境省 近畿地方環境事務所
3. 気象庁 和歌山地方気象台

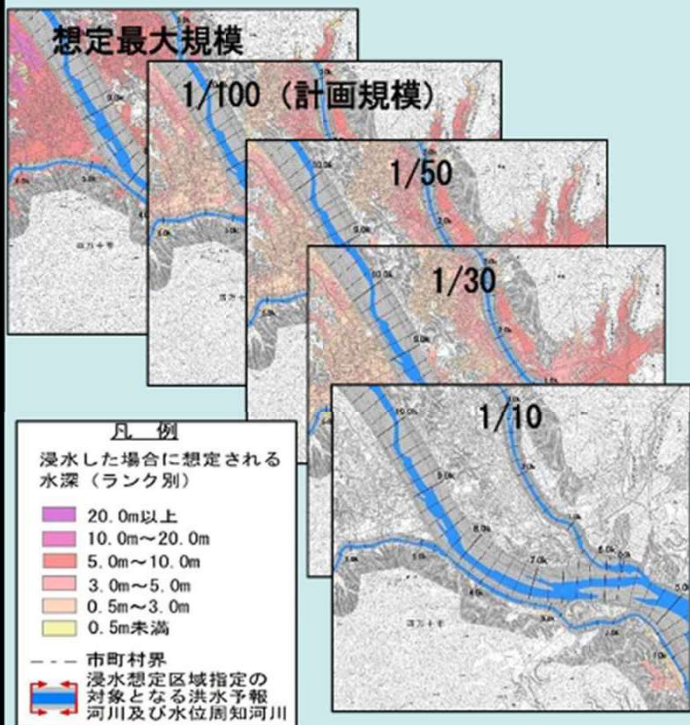
1. 国土交通省 和歌山河川国道事務所

内外水統合型水害リスクマップの作成について

- 国土交通省では、流域治水の取り組みを推進するため、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択に活用出来るよう、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した浸水想定図（「多段階の浸水想定図」）と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」を作成している。
- これに加えて、主要河川以外の支川や内水氾濫による浸水リスクを示す内外水統合型のリスクマップを作成する方針である。
- これまでに公表済みの水害リスクマップは主要河川（紀の川）の氾濫による水害リスクを示したものであった。
- 内外水統合型のリスクマップを作成することで、紀の川に流入する和歌山県管理河川等から氾濫する浸水リスクや、内水氾濫リスクを表現することが可能となる。

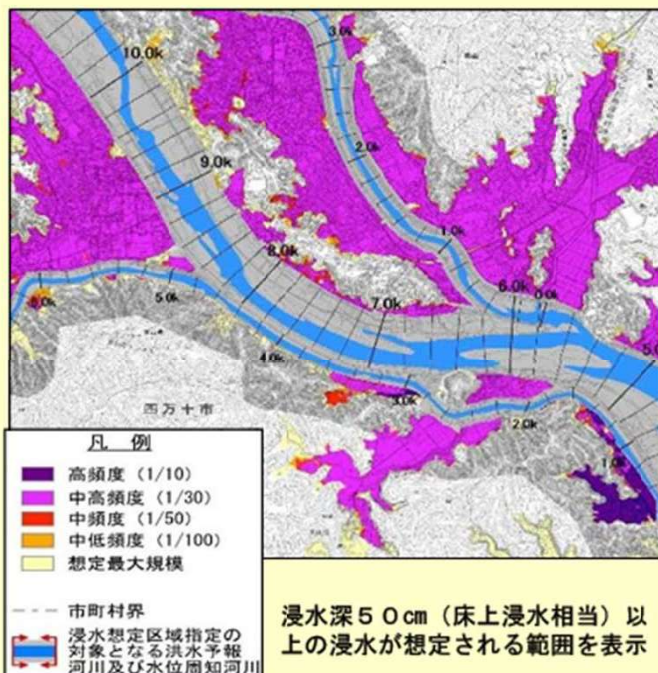
【多段階の浸水想定図】

想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（1/10、1/30、1/50、1/100（計画規模））に作成した浸水想定図。



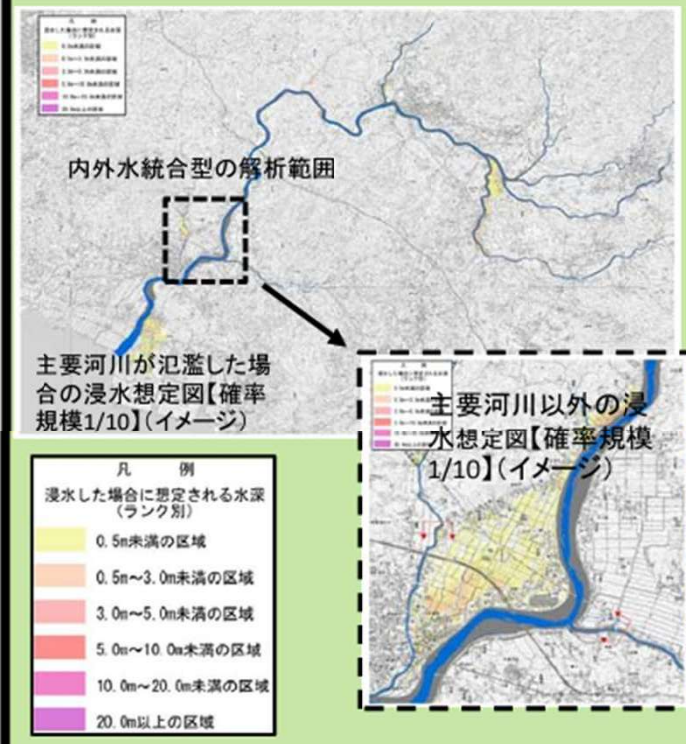
【水害リスクマップ】

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.5m未満、0.5m以上（床上浸水相当）、3.0m以上（1階居室浸水相当））に重ね合わせて作成した図面。



【内外水統合型水害リスクマップ】

其他河川や下水道からの氾濫による浸水を内外水一体型で表現した図面。

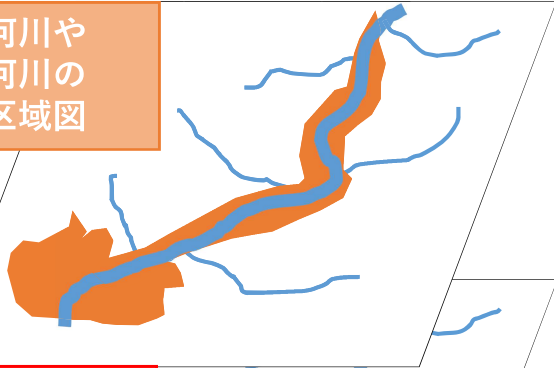


内外水統合型水害リスクマップの作成について

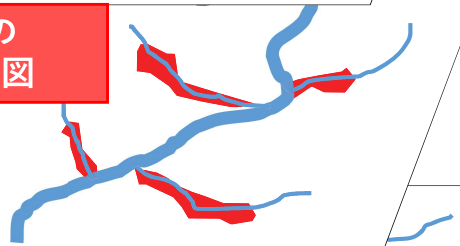
- 洪水予報河川や水位周知河川のみならず、その他河川や下水道等からの氾濫を明らかとすることで、**水害リスク情報の空白地の解消が重要。**
- 現在管理者別に作成・提供されている浸水ハザード情報図について、**洪水予報河川や水位周知河川の氾濫、その他河川の氾濫(外水氾濫)、下水道等からの氾濫(内水氾濫)を雨量確率ごとに重ね合わせて表示。**

複数の浸水想定区域図

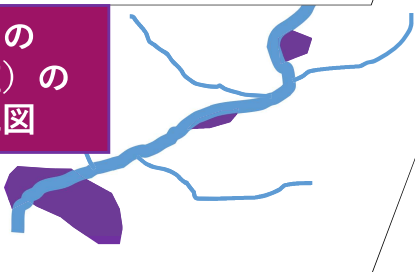
洪水予報河川や
水位周知河川の
浸水想定区域図



その他河川の
浸水想定区域図



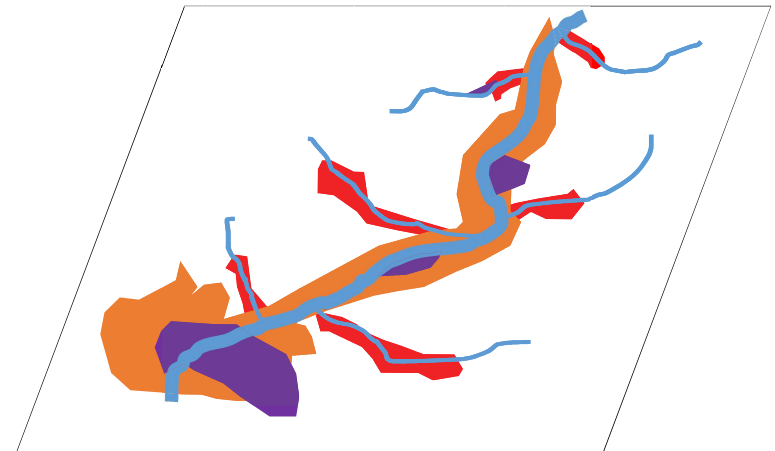
下水道等からの
氾濫(内水氾濫)の
浸水想定区域図



一体化



内外水統合型水害リスクマップ



ポイント

- ✓ 浸水リスクを管理者(国、県)を分けず、一括して表現可能
- ✓ 外水と内水氾濫による地域の浸水リスクを一体的に表現可能
- **地域の実感や過去の浸水実績と比較可能**
- ✓ 河川毎ではなく地点毎の浸水頻度を表示できる
- **中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討への活用期待できる**

内外水一体型の水害リスクマップ作成(概念図)

内外水統合型水害リスクマップの作成について

○ 現在、和歌山河川国道事務所では紀の川水系紀の川・貴志川（直轄管理区間）の内外水統合型水害リスクマップの作成を進めている。

■各種水害リスクマップ作成状況

河道条件		作成状況
外水氾濫	現況	済
	短期	
	中期	
	中長期	
内外水統合型	現況	作成中

■内外水統合型水害リスクマップの作成及び公表予定スケジュール※

市町村名	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降
和歌山市	作成時期		公表予定時期	
橋本市				作成時期
紀の川市	作成時期			公表予定時期
岩出市	作成時期			公表予定時期
かつらぎ町				作成時期
九度山町				作成時期
五條市				作成時期

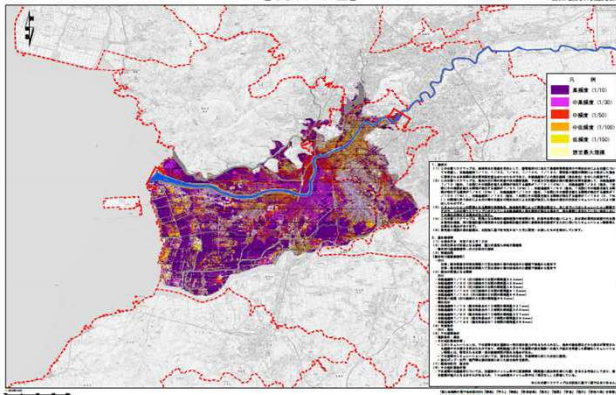
凡例
 作成時期
 公表予定時期

※ 具体的な時期については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■内外水統合型水害リスクマップの例（熊本県 白川水系白川）

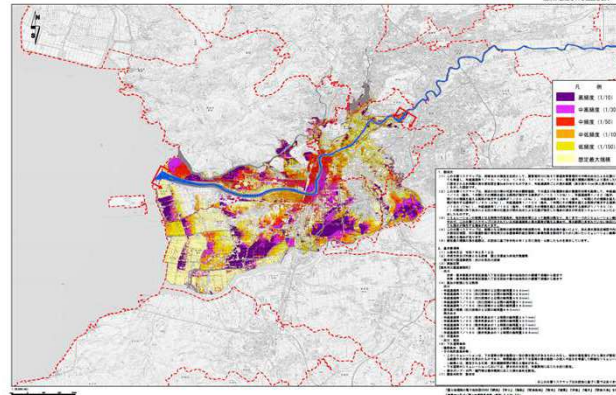
全国初事例 (R7. 2. 12公表)

白川水系 内外水統合の水害リスクマップ
【現況河道】



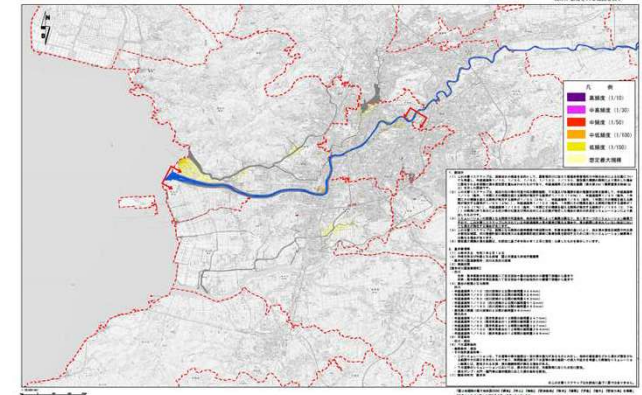
浸水が想定される範囲

白川水系 内外水統合の水害リスクマップ
【現況河道】



浸水深50cm以上の浸水が想定される範囲

白川水系 内外水統合の水害リスクマップ
【現況河道】



浸水深3m以上の浸水が想定される範囲

【出展】国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 (<https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/bousai/tadankaisinsuisouteizu.html>)

貴志川特定都市河川の指定

新規

令和8年3月下旬に 貴志川の 特定都市河川指定 を目指します

同時に、貴志川流域が特定都市河川流域に指定されます。

指定までの経緯

貴志川周辺では、昔から氾濫による被害が多く、令和5年6月の台風第2号では貴志川流域で線状降水帯が発生し、広範囲で浸水被害がありました。

気候変動の影響で、今後さらに被害が大きくなるような大雨の発生が懸念されます。

流域内における一定規模以上の開発行為に対し雨水を貯める等の対策を求めると、流域内のみんなが雨を貯める取組等をより一層進め、大雨に対する安全度の向上を目指します。



赤線：貴志川の流域(降った雨が貴志川に流れ込む範囲)
緑線：紀の川流域

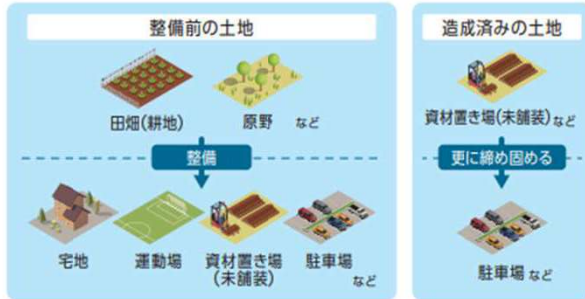
指定されるとどうなるの？

田畑など締め固められていない土地で行う
1,000㎡以上の雨水浸透阻害行為（雨水がしみ込みにくくなる行為）に対して、**雨水貯留浸透施設（調整池等）の設置及び和歌山県知事等の許可が必要**になります。
このほか、流域内の関係者が連携する取組を計画し、推進していきます。

1,000㎡以上の雨水浸透阻害行為

- 田畑(耕地)、原野、林地などの整備が対象になります。
- 資材置き場の造成や駐車場の整備等も対象になります。
- 既に造成済みの土地や調整池を設置済みの土地でも、更に締め固めるような土地に変更する場合は対象となることがあります。

対象となる行為(雨水浸透阻害行為)の例



法的枠組みを活用した「流域治水」の本格的実践 特定都市河川浸水被害対策法の適用

参考

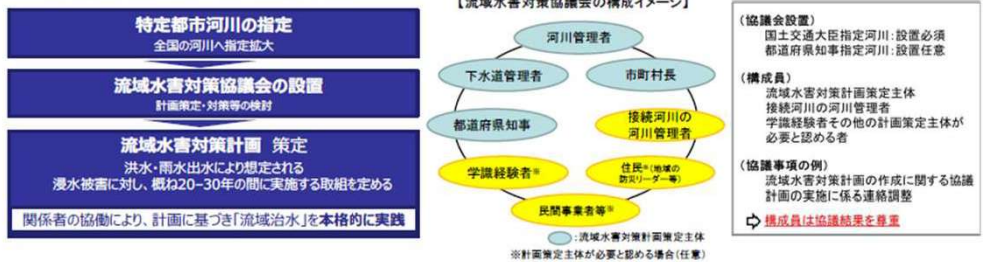
概要

- 気候変動により、本支川合流部や狭窄部などの箇所において、従来想定していなかった規模での水災害が頻発している (例) 平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風 等
- このため、今後、特定都市河川浸水被害対策法に基づく特定都市河川を全国の河川に拡大し、ハード整備の加速に加え、国・都道府県・市町村・企業等のあらゆる関係者の協働による水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりを進めるとともに、流域における貯留・浸透機能の向上を図る

特定都市河川の指定対象



流域治水の計画・体制の強化



【流域水害対策協議会の構成イメージ】

(協議会設置)
国土交通大臣指定河川:設置必須
都道府県知事指定河川:設置任意

(構成員)
流域水害対策計画策定主体
接続河川の河川管理者
学識経験者その他の計画策定主体が必要と認める者

(協議事項の例)
流域水害対策計画の作成に関する協議
計画の実施に係る連絡調整

☞ 構成員は協議結果を尊重

●:流域水害対策計画策定主体
※計画策定主体が必要と認める場合(任意)

2. 環境省

近畿地方環境事務所

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水難事故の啓蒙活動 地域 個人 企業・団体			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	● 人と防災未来センターとの連携事業 市民向け「ゲリラ豪雨マスターになろう！」WSの開催（7/19、7/20、計4回） 市民向けワークショップの実施		
	◎教育活動 地域 個人		● 対象中学校へのビデオ教材（初版）の配布 中学校におけるゲリラ豪雨情報の活用実証授業のビデオ教材化	
	◎訓練活動 地域 個人			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	◎水災害対策の支援 個人		● 神戸須磨シーワールドのヒアリング（12/4） 中小規模施設におけるゲリラ豪雨対策状況のとりまとめと、とりまとめ資料（事例集：ガイドライン）の共有／対策推進	
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			

淀川水系流域治水協議会（環境省）

流域にも視野を広げる（自分のためにもみんなのためにも）

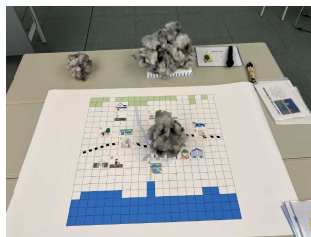
教育活動

- 中学校におけるゲリラ豪雨情報の活用実証授業のビデオ教材化
- ・初版ビデオ教材の限定公開中
<https://youtu.be/e1aknE1evGQ>
- ・初版ビデオ教材を中学校に配布
対象：南宇治中学校、東宇治中学校



ワークショップの実施

- 人と防災未来センターとの連携
- 市民（小学生）向けのワークショップ：「ゲリラ豪雨マスターになろう！」を実施（7/19、7/20）
- ゲームをしながら、ゲリラ豪雨対策の重要性を学ぶ



事例集・ガイドライン策定

- 中小規模施設におけるゲリラ豪雨対策状況のヒアリング
- ・神戸須磨シーワールド訪問（12/4）
- ヒアリング結果のとりまとめ資料（事例集：ガイドライン）の共有／対策推進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

3. 気象庁

和歌山地方気象台

令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

いつ逃げる？
レベルで判断！

避難の判断がよりしやすし

【一 覧 表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に「レベル」が
付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧) 「大雨警報」

→ (新) 「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当



「警戒レベル4相当」の情報は
「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧) 「土砂災害警戒情報」

→ (新) 「レベル4土砂災害危険警報」



河川の氾濫の危険度の伝え方が
変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。

今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧) 「洪水警報」

→ 【洪水予報河川※】

(新) 「レベル3氾濫警報」

→ 【洪水予報河川以外の河川】

(新) 「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川



線状降水帯の発生などは
「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧) 「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新) 「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧) 「記録的短時間大雨情報」

→ (新) 「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



避難のタイミングは レベルで判断



災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～
1日前

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～
数時間前

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～
3時間前

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～
0時間前

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

災害
発生

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、 どう受け取る？



警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル 検索

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

OO市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）	地区	2026年XX月XX日11時00分発表												備考・関連する現象	
		12-23	12-24	12-25	12-26	12-27	12-28	12-29	12-30	12-31	1-1	1-2	1-3		
1時間最大雨量 _{mm}		10	30	50	50	30	20	10							
24時間最大雨量 _{mm}				200			200								
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位 _m	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	0.5					

【話題提供】

新たな防災気象情報について(令和8年～)

2025.2.19作成

和歌山地方気象台

気象庁HPに新たな防災気象情報特設サイトを公開しました。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/keiho-update2026/index.html>

特設サイトの下段には「情報改善の詳しい説明資料」を掲載しています。

全体概要

[防災気象情報の改善について \[PDF形式:2.0MB\]](#) 

災害種類別の情報

[河川氾濫・大雨に関する情報の改善 \[PDF形式:1.0MB\]](#) 

[土砂災害に関する情報の改善 \[PDF形式:0.71MB\]](#) 

[高潮に関する情報の改善 \[PDF形式:0.87MB\]](#) 

[水防法に基づく氾濫通報制度等について（主に水防・砂防関係者向け） \[PDF形式:0.98MB\]](#) 

「氾濫通報制度」は、洪水や高潮の氾濫が差し迫った状況、あるいは、氾濫が発生した状況を把握したときに河川管理者等がその状況を通報するものであり、市町村長が発令する警戒レベル5の緊急安全確保措置に直結する極めて重要な情報です。現在、国土交通省水管理・国土保全局において、その運用の検討が進められています。



気象庁HPに新たな防災気象情報特設サイトを公開しました。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/keiho-update2026/index.html>

特設サイトの下段には「情報改善の詳しい説明資料」を掲載しています。
(つづき)

その他の情報

[主キクルの改善について](#) [PDF形式:0.76MB] 

[気象情報（解説情報）の改善～気象防災速報・気象解説情報への整理～](#) [PDF形式:0.66MB] 

[早期注意情報の変更について](#) [PDF形式:0.96MB] 

[時系列情報（明日までの警報等の見通し）について](#) [PDF形式:1.4MB] 

[線状降水帯（直前予測）について](#) [PDF形式:1.8MB] 

[気象庁ホームページの改善について](#) [PDF形式:5.6MB] 

[新たな情報等の英語表記について](#) [PDF形式:0.67MB] 



線状降水帯の発生などは
「気象防災速報」として発表します

◎ 極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。
【変更例】

- (旧) 「顕著な大雨に関する気象情報」
→ (新) 「気象防災速報（線状降水帯発生）」
- (旧) 「記録的短時間大雨情報」
→ (新) 「気象防災速報（記録的短時間大雨）」

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



線状降水帯に関する情報の位置付け

線状降水帯発生
の可能性あり

～半日程度前

線状降水帯に関する情報

気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

内容：線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

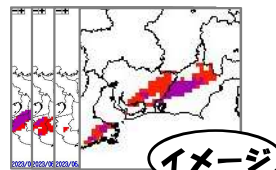
R4 地方単位で呼びかけ



R6 府県単位で呼びかけ



R11 線状降水帯による大雨のおそれが高い領域を半日前からメッシュ情報(市町村単位)で提供予定



イメージ

補足

住民に求められる行動

大雨に対する心構えを一段高め、避難準備等、災害に備える

明るいうちから早めの避難

線状降水帯発生
の可能性高まる

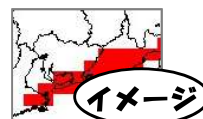
～3時間前

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

内容：線状降水帯による大雨発生の確度が高まったことをお知らせ

R8 ・お知らせ開始(予定)

・線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を最大3時間前から提供予定



イメージ

補足

レベル4危険警報が発表されるタイミングと近いことから、周辺状況や自治体の避難情報等もふまえ、避難など適切な対応行動をとる

線状降水帯発生

30分前～現在

気象防災速報(線状降水帯発生)

内容：線状降水帯の発生をお知らせ

R3 ・お知らせ開始
・線状降水帯の雨域を楕円で表示



補足

R5 ・最大30分前倒しでお知らせ開始
R8 ・図情報(楕円表示)を更新予定

自治体からの避難情報や周辺状況を確認し、速やかに安全確保

迫りくる危険から直ちに避難

時間

気象防災速報(線状降水帯直前予測)の概要 (文章情報・図情報)

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

- 今後3時間以内に、線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に発表します。
- 一次細分区域を対象に発表します。

和歌山県気象防災速報 (線状降水帯直前予測) 第1号
令和〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 和歌山地方気象台発表
(見出し)

和歌山県南部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

線状降水帯予測マップ(仮称)

- 文章情報を補足するものとして、最大3時間先までに線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域をメッシュ情報で提供します。
 - 文章情報の対象地域にあっては、線状降水帯発生のおそれのある領域を確認し、防災対応につなげていただく
 - 文章情報が発表されていなくとも、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意いただく

